

2024年5月23日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
標本資料センター 神保 宇嗣

第43回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

第43回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり Zoom を利用して開催します。多くの方に参加していただくため、対面集会ではなくオンライン形式での開催にさせていただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。ご参加いただける場合には、6月16日（日）までに下記の事前申し込みフォームよりお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時：2024年6月22日（土） 13時30分～16時

場所：Zoom を利用したインターネット会合

事前申し込み：<https://forms.gle/ShjUNADL6m3bHKTG8>

※受付後、改めて Zoom の URL をお知らせします。

申込締め切り：2024年6月16日（日）24時

主催：国立科学博物館

協力：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください。

本件に関する連絡先

国立科学博物館

神保 宇嗣・太田 藍乃・柿添 翔太郎・江守 知保

電話：029-853-8277 E-mail：s-net_info@kahaku.go.jp

第 43 回 自然史標本情報発信に関する研究会
ー自然史系博物館資料のデジタルアーカイブ化と公開ー

サイエンスミュージアムネット (S-Net) は、自然史系博物館をはじめとする全国の参加機関が所有する標本のデータをつないで公開する役割を担っています。皆様から提供いただいたデータは、S-Net ポータルウェブサイトや、連携している GBIF・ジャパンサーチなどのさらに大きなデータベースを通じて公開されています。一方、博物館法では、その一部を改正する法律が令和 5 年 4 月 1 日に施行され、博物館資料に係る電磁的記録を作成 (デジタルアーカイブ化) して公開することなどが追加されました。これには、デジタル技術を活用した博物館資料のデジタルアーカイブの構築・管理およびインターネットを通じた公開が含まれています。

そこで、今回の研究会では、そのような情勢の変化を踏まえ、博物館資料のデジタルアーカイブ化とその公開をテーマとして取り上げ、実践例や博物館の対応について話題提供いたします。今回の会合を通じて、自然史系博物館からのデジタルアーカイブの発信や S-Net の今後のあり方について考える機会にしたいと思います。

<プログラム> 13:30 ~ 16:00

- ・ 開催挨拶、注意事項
 - ・ イントロダクション (趣旨説明等) 神保 宇嗣 (国立科学博物館)
 - ・ 講演 1 : デジタルアーカイブと博物館 井上 透 (岐阜女子大学)
 - ・ 講演 2 : ジャパンサーチ連携とコンテンツ利活用 眞籠 聖 (国立国会図書館)
 - ・ 講演 3 : 地域博物館の DA 関連の活動例 — 琵琶博の取り組み 大槻達郎 (滋賀県立琵琶湖博物館)
 - ・ 講演 4 : デジタルアーカイブの標準規格 IIIF の紹介 青柳和仁 (島根大学附属図書館)
 - ・ 全体での質疑など
- (各講演は発表 25 分・質疑 5 分です)

ご参加いただくには、事前のお申し込みが必要です。

下記のサイトより、お申し込みいただければ幸いです。

事前申し込み : <https://forms.gle/ShjUNADL6m3bHKTG8>

※受付後、改めて Zoom の URL をお知らせいたします。